（６）設　備　投　資

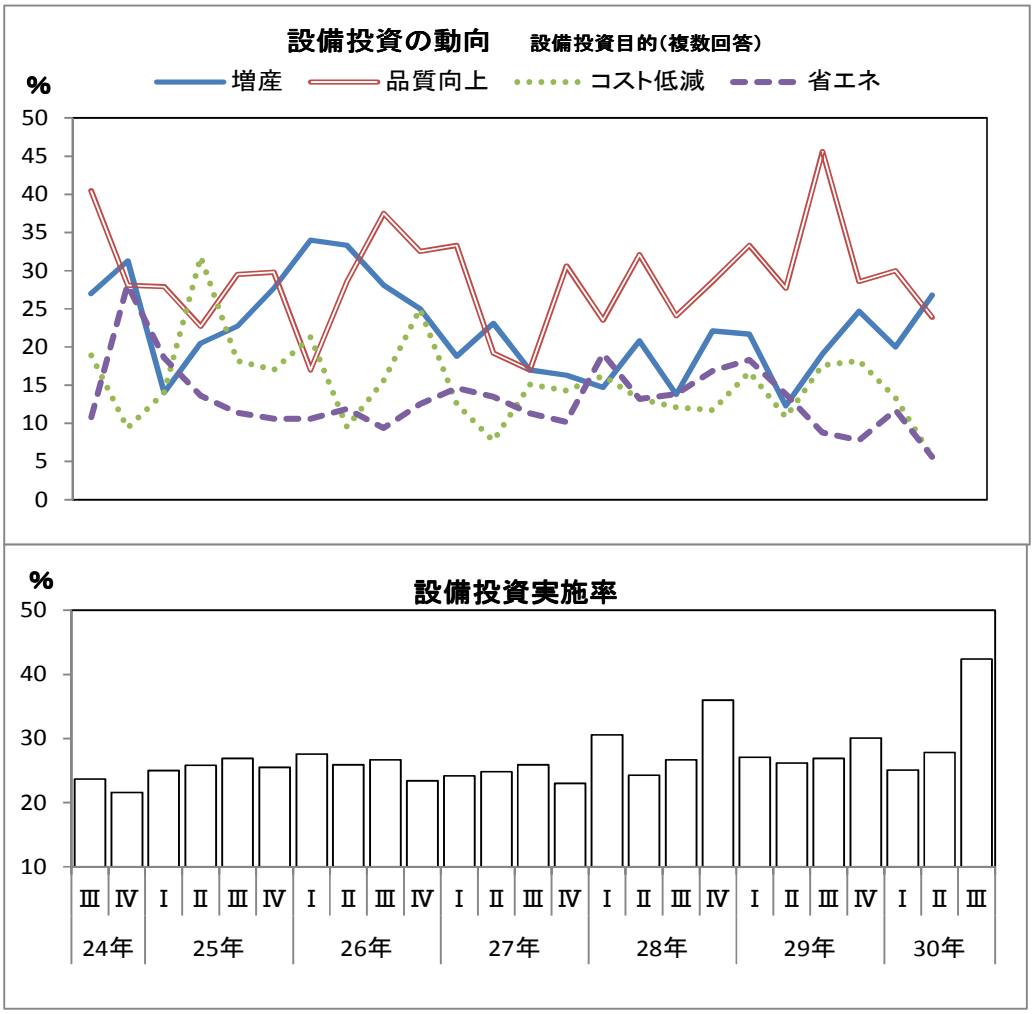
設備投資実施率については 27.8%となり、前回調査より 2.7 ポイント上昇している。業種別で高い実施率となったのは、「機械・機器」・「プラスチック製品」で、目的別では「増産」が 26.8%でトップ、次いで「品質向上」が 23.9%、「コスト低減」・「省エネ」がともに 5.6%の順となっている。

来期の設備投資計画率（30 年 7-9 月期の設備投資計画）については 42.4%となり、前回調査の 36.7%から 5.7 ポイント上昇している。

設備操業率については、前期比で「上昇」したとする企業が 13.9%、「下降」したとする企業が 22.9%で、ＤＩについては▲9.0 となり、前回調査の▲8.0 から 1.0 ポイント下降している。

【図表 13、14】

【図表 13】



【図表 14】

	設備投資			設備操業率　前期比		
	実施	不実施	DI	上昇	下降	DI
食　料　品	24.5	75.5	▲ 51.0	10.4	27.1	▲ 16.7
繊　維	12.9	87.1	▲ 74.2	14.3	28.6	▲ 14.3
木　材	20.0	80.0	▲ 60.0	9.1	18.2	▲ 9.1
紙・加工品	33.3	66.7	▲ 33.4	7.7	15.4	▲ 7.7
窯業・土石	19.0	81.0	▲ 62.0	13.5	27.0	▲ 13.5
金　属	32.4	67.6	▲ 35.2	19.2	11.5	7.7
機械・機器	40.0	60.0	▲ 20.0	16.7	24.1	▲ 7.4
プラスチック	38.5	61.5	▲ 23.0	15.4	15.4	0.0
合　計	27.8	72.2	▲ 44.4	13.9	22.9	▲ 9.0